

事務事業名		建設改良に伴う施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	0 4 潤いに満ちた快適な生活環境の創造		事業期間	
	施策名	1 5 良好な生活空間の創造		区分	
	基本事業名	0 2 水道の整備と水の安定供給		単年度繰返	
根拠法令		水道法		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	上下水道部水道課		【開始年度】	
	課長名	後藤 浩靖		昭和29 年度～	
	係名	工務給水係	電話	0192-27-3111	
	担当者	館下 睦章	内線	205	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
水道水の安定した供給を図るため、既設の配水管等について、老朽化に伴う布設替えや道路改良工事等により支障となる配水管等の布設替えを行う。また、既存33施設の機械・電気・計装設備等の更新を行う。 事業費は、工事請負費、測量・設計委託料、用地・補償費等である。				C 施設管理	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)				総投入量(千円)	
				事業費	財源内訳
				国庫支出金	
				都道府県支出金	
				地方債	
				その他	
				一般財源	
				事業費計(A)	0
				正規職員従事人数	
				延べ業務時間	
				人件費計(B)	0
				トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) 導・配水管布設替工事 2件、川原ポンプ場他機械・電気・計装設備更新工事 1件、取水施設更新工事 2件、冷清水ポンプ場他クラウド化更新業務 1件	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 配水管移設工事 2件、送・配水管布設替工事 1件、丸森配水池他クラウド監視通信装置4G化工事 1件、冷清水ポンプ場他機械・電気・計装設備更新工事 1件、第1浄水場外トイレ新築工事 1件、宮野ポンプ場更新工事 1件、綾里浄水場取水堰堤改修工事 1件	ア 水道管布設替延長 m
	イ 水道設備更新・改修工事件数 件
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 水道施設	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 導・送・配水管の総延長 m
	キ 水道施設数 施設
	ク 老朽管等による水質苦情件数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 配水管の布設替え及び水道設備を更新し機能強化を図る。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全な水道水が安定して供給される。	サ 有効率 %
	シ 有収率 %
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	年度						
		2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	14,204	0	46,204
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	44,794
	地方債	千円	159,817	47,800	134,069	171,700	728,500	404,100
	その他	千円	15,181	11,422	2,589	19,428	95,429	107,763
	一般財源	千円	17,757	9,744	14,897	0	0	0
	事業費計(A)	千円	192,755	68,966	151,555	205,332	823,929	602,861
人件費	正規職員従事人数	人	5	6	6	5	6	6
	延べ業務時間	時間	2,350	2,820	2,820	2,385	2,820	2,820
	人件費計(B)	千円	9,400	11,280	11,280	9,540	11,280	11,280
	トータルコスト(A)+(B)	千円	202,155	80,246	162,835	214,872	835,209	614,141
⑤活動指標	ア	m	190	39	485	828	2,129	1,715
	イ	件	3	4	4	4	4	3
	ウ							
⑥対象指標	カ	m	282,054	289,972	297,394	302,550	412,591	412,591
	キ	施設	42	41	38	37	86	86
	ク	件	0	0	0	2	0	0
	ス							
⑦成果指標	サ	%	84	82	82	79	86	87
	シ	%	81	79	78	76	83	83
	ス							

事務事業ID	0317	事務事業名	建設改良に伴う施設整備事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和29年4月の上水道供用開始以来、水道施設の老朽化が進み、また、道路改良等に伴い水道管の布設替え工事が必要となったことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	水道施設の老朽化が進行しており、計画的な配水管の布設替え、設備更新等が急務である。 令和6年度より、大船渡市上水道事業と大船渡市簡易水道事業が統合された。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	住民(水道使用者)から、老朽管等の更新の要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 水道施設を適切に維持管理することにより市民に安全な水が安定して供給され、その結果、快適な都市環境の向上が図られる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 水道は公営事業であり、経済性ととともに住民福祉の増進に努めなければならないことから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 水道施設の機能強化及び更新を行うものであることから適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 事業の健全な経営を維持するため、計画的な整備が不可欠であり、施設の統合や水道管のダウンサイジング等の検討により成果の向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市民に対し、安全な水道水を安定した供給ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 施設の統合や水道管のダウンサイジング等の検討により削減の余地はある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限の人員で事業を実施しているためこれ以上の人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 最終的には水道料金に転嫁されており、適切である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×	水道事業経営戦略の進捗管理の徹底を図るとともに、費用対効果に留意し、将来を見据えた計画の見直しを検討する。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	安全な水を安定的に供給するために欠かせない事業である。しかし、人口減少社会への移行に伴い、施設の更新にあたっては、その規模や能力について、検証を行い、常に健全な経営を念頭に更新計画を定めることが重要である。